



多品種時代 後半活力を維持する根づくりで全力で

指導部顧問 松浦 一 宇



茎数やや不足でも 無計画な追肥は禁物

何事にも適度というものがあるようだ。「過ぎたるは及ばざるがごとし」の諺ではないが、移植後これまで（6月17日現在）晴天日が多く、5月の気温が山形県では観測史上最高を記録したそうである。

イネは、移植し活着までは順調であったが、例年より気温が高かったことから「田ワキ」が早期から激しかったり、除草剤（一発処理剤）の薬害が多く発生、初期生育を大きく阻害したようである。

特に「テフリルトリオン」成分が多く入った除草剤施用田に葉色が淡黄色になったり、初期分けつ（2〜3号分けつ）がほとんど発生していない圃場も散見された。農業が組織毎にあらかじめ指定され、栽培者が自由に選択できない特別栽培では、特にイネに優しい除草剤の選択が重要である事を

改めて痛感させられた年となつてしまった。

初期生育の促進拡大につまずいた（8葉期まで有効茎確保されない）イネほど、①基肥の消化が遅れる、②茎数が少ないほど（横に拡がりが少なく）草丈が伸びやすくなる、③根量や根長も少ない為基肥の消尽も遅れる。

以上のような事柄から、今後イネの生育予想は、稈長の伸び易い品種（コシヒカリ・ひとめばれ・あきたこまち・ササニシキ・出羽さけり・美山錦・出羽燦燦）等は稈長が伸び過ぎると倒伏し易いイ

ナ型と成り易い。

稈長の伸びにくい品種（つや姫・はえぬき）等は倒伏の心配はないが、タンパク値が高く食味値の低い米づくりと成り易い。

8〜10葉期に少々茎数が少なくとも、基準葉色より極端に葉色が淡くない限り（0・5番色以上）無計画な追肥はしないことである。

見た目の生育量に

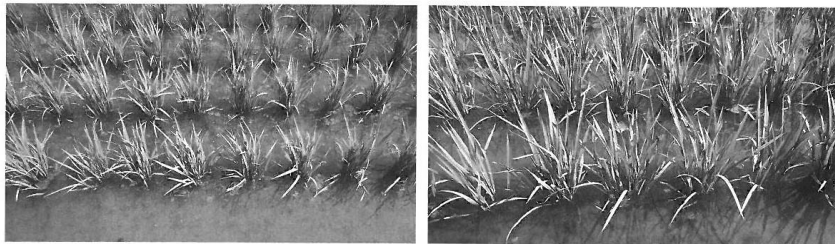
惑わされない事が大切

写真①は稚苗移植と直播による6月17日現在の生育状況の写真である。

また、葉齢・茎数・草丈の違いを調査して表に記したので参照願う（44ページ）。

移植と直播では、写真②で見る通り特に草丈の差が大きいことから、全体を見回した瞬間に直播イネの生育量（茎数×草丈）は、草丈が短いために非常に小さく感じ易い。しかし、分けつ体系の違いを写

写真①



▲ 6月17日現在の直播田

▲ 6月17日現在の移植田

写真②



直播はえぬき

移植はえぬき

上の直播田の1株
（主茎8本）上の移植田の1株
（主茎5本）

真③で見る通り、直播は表面播種で分けつが出易く、1号分けつから発生し、順次2号・3号・4号分けつとほとんど休みなく出ており、1株7〜8粒から、4倍の28〜32本になっている、7葉展開時で正当たり568本の茎数が確保されている。

10葉以降、節間伸長期に入ると草丈もほぼ同じになるから、茎数の多い直播の方が生育量が大きくなりがちである。

我が家では、昨年まで10a当た

り5kg播種していたが、茎数過多で倒伏し易くなる事から、今年は1kg減の4kg（乾モミ）としたところである。

発芽率90%以上を確保出来れば4kg播種量で十分と思われる。

表に示す通り、150g播種して10a当たり23箱使用した移植「はえぬき」より、正当たり60本程多くなっているようである。

前述した通り、分けつは移植より下位（1号分けつ）から順調に確保されているようである。

中干し・節水管理で

根張りを良くする

直播も稚苗移植と同じく、増減葉がなければ、総葉数13枚で出穂となるようである。

8葉展開後は、速やかに中干し・節水管理として根づくりに専念する事が重要である。

表面播種である事から根が浅く成り易く、この時期から特に根を深く張らせるように節水管理を12葉展開期頃まで徹底するようにしたいものである。

根が浅いと、出穂後に根元がグラついて倒伏抵抗力が弱いイネになってしまいうようであり、移植イネ以上に、この時期の根づくりに力を注ぎたいものである。

写真③ 6月17日現在の直播イネと移植イネの生育状況

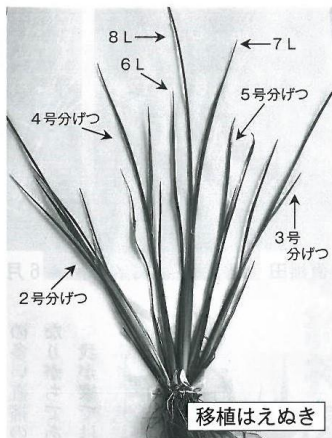
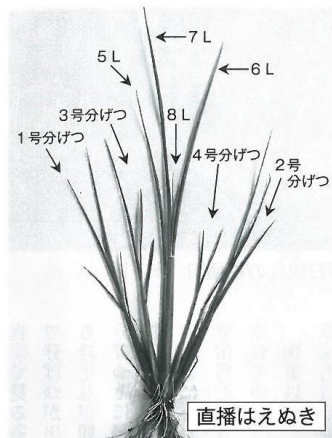


表. 稚苗移植と直播の比較「6月17日現在」

(松浦)

栽培様式	比較項目	葉 齢 (L)	草 丈 (cm)	茎 数 (本/m ²)	葉 色 (番)	各 葉 身 長 (cm)
稚苗移植		7.9	36.0	509	4.5	3L-8cm 4L-12.5cm 5L-15cm 6L-17.5cm 7L-19.0cm 8L-27cm
直 播		6.8	27.5	568	4.0	3L-6cm 4L-10.5cm 5L-12.5cm 6L-16cm 7L-18.5cm

※品種「はえぬき」直播5月4日播種。5月16日移植したものである。

◎移植=150g/1箱で23枚/10a使用。

◎直播=4.0kg/10a まき。

うにしたいものである。
ちなみに、直播の「はえぬき」は移植より5〜7日位出穂が遅れるので、穂肥も4〜5日遅れての施肥で適期として良いようである。
尚、我が家でも施肥労力を軽減する為に、今年から基肥一発肥料を試験的に導入したので、結果等について

一昔前と違って、品種や施肥する肥料も特裁、慣行栽培との違いで施肥適期も違ってくるので誤らないようにしたいものである。
有機50%の肥料を施す特別栽培では、肥料の効き出しが遅い為に4〜5日早めの30日前の穂肥が適期となる。

期である。
11葉展開時の出穂25日前が穂肥適期である。

の遅れとなっているようである。
出穂も例年5〜7日位の遅れとなるようである。
「はえぬき」慣行栽培であれば11葉展開時の出穂25日前が穂肥適期である。

鉄コーティング直播を導入して5年程になるが、除草に失敗したり、強風で種子が流されたりで毎年のようにトラブルが発生していたが、ようやく安定した手法が見えてきたように思っているところである。
「発芽〜1葉展開までが重要」
①田面を出来る限り均平にする、
②播種時の田面は硬すぎず軟らかすぎない、
③播種後3日間位は(種子がおちつく) 水を入れない、
④静かに入水してブレイク等(初期除草剤)を散布、
⑤風の強い日は浅水が落水する、
⑥1〜1・5葉でベストパートナー等の一発処理剤を散布する。草もほとんどなく移植と遜色のない青田が出来る。

では機会があれば発表したいと思っている。
直播・正否は初期
水のかけひきで決まる

鉄コーティング直播を導入して5年程になるが、除草に失敗したり、強風で種子が流されたりで毎年のようにトラブルが発生していたが、ようやく安定した手法が見えてきたように思っているところである。
「発芽〜1葉展開までが重要」
①田面を出来る限り均平にする、
②播種時の田面は硬すぎず軟らかすぎない、
③播種後3日間位は(種子がおちつく) 水を入れない、
④静かに入水してブレイク等(初期除草剤)を散布、
⑤風の強い日は浅水が落水する、
⑥1〜1・5葉でベストパートナー等の一発処理剤を散布する。草もほとんどなく移植と遜色のない青田が出来る。

水のかけひきで決まる

直播・正否は初期

適期に適量の穂肥で
健全多収に
品種や栽培様式の違いで穂肥の
施肥期が若干ちがつてくる。
ここでは移植と直播「はえぬき」
の施肥期の違いについて述べる。
現時点で葉数でちょうど1葉程
遅れている。日数にして約7日程

の遅れとなっているようである。
出穂も例年5〜7日位の遅れとなるようである。
「はえぬき」慣行栽培であれば11葉展開時の出穂25日前が穂肥適期である。

水のかけひきで決まる

直播・正否は初期